

【2026 年第 1 号】

香港・深圳グローバル・フィンテック・ハブの建設に関するアクションプラン (2025～2027 年)

2026 年 2 月 26 日

莫 敏儀 KELLY MOK

アジア法人営業部
香港法人営業 GR
ビジネスソリューション & アドバイザリー

T +852-2249-3938
E KELLY_MY_MOK@HK.MUFG.JP

株式会社 三菱 UFJ 銀行
MUFG Bank, Ltd.
(Incorporated in Japan with limited liability)
A member of MUFG, a global financial group

2025 年 11 月 19 日、香港政府の財經事務・庫務局(FSTB)と深圳市金融監督管理局は「香港・深圳グローバル・フィンテック・ハブの建設に関するアクションプラン(2025～2027 年)」を共同で発表した。本アクションプランでは、国家レベルの戦略プラットフォーム(前海深港現代サービス業協力区、河套深港科技創新協力区¹)を活用した、深港両地の金融・テクノロジー分野における優位性強化を目的に、5 つの分野で 20 の取り組みが盛り込まれた。具体的には、2027 年末までに香港・深圳クロスボーダーデータ検証プラットフォームについて、金融分野における 20 以上の応用シナリオの実現を目指すとともに、香港の国際金融センターとしての地位をさらに強化し、深圳を世界的に影響力のある産業金融センターへと発展させることを目標としている。本稿では、政府発表に基づき主要な施策を整理し、今後の展望について考察する。

1. 背景

香港では近年、経済・産業構造の多様化が求められており、政府はイノベーションと技術変革(AI・ロボティクス、フィンテック、先端製造、ヘルスケア、新エネルギー等)の加速を政策の重点に据えている。2025 年には香港金融管理局(HKMA)が、香港のフィンテック分野の発展を推進する先見的戦略「フィンテック 2030」を発表し、グローバル・フィンテック・ハブとしての地位強化を明確に打ち出した。こうした政府主導の戦略、エコシステムの成熟、先端技術の積極導入を背景に、香港のフィンテック市場は近年、高い成長モメンタムを維持している。

一方、深圳は中国本土を代表するテック産業の集積地として、独自のイノベーション・エコシステムを形成してきた。5G・半導体関連分野をはじめ、スマート製造、ロボティクス、クリーンテックに強みを持つスタートアップやユニコーンが次々と台頭しており、HUAWEI、テンセント、ドローン大手の DJI など世界的に有名な企業を多数輩出している。

こうした背景のもと、香港と深圳の強みが補完し合う中、中国華南エリアでのイノベーション経済圏が急速に構築しつつある。本アクションプランは、この動きを制度面から後押しし、両地の連携をデータ・決済・監督といった各レイヤーで具体化するものである。香港と深圳は、本プランを通じて大湾区におけるフィンテックの高品質な発展を共同で推進することを目指している。

¹ 詳細は当室発行の[【2025 年第 11 号】香港 新田テクノポールの開発計画発表](#)ご参照

2. 本アクションプランの概要(抜粋)

概要	
金融テクノロジー分野の集積・育成	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 深圳に拠点を置く金融機関による、香港でのフィンテック子会社の設立を促進 ▪ 海外アクワイアリング業務や決済ライセンスを有する香港の決済機関に対し、深圳におけるクロスボーダー決済向け技術サービスプロバイダーの設立を奨励 ▪ 香港・深圳によるフィンテック・インキュベーターの共同開発に向けた支援
オリジナル技術研究の支援	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 前海深港現代サービス業協力区、河套深港科技创新協力区において、現地実情に即したデータ越境管理措置の検討・導入を奨励 ▪ 香港金融管理局と中国人民銀行との間の「越境信用情報相互運用試験プログラムに関する覚書」の枠組みに基づき、越境信用情報分野における「北上南下」の試行を推進 ▪ 両地域における越境データ検証プラットフォームの構築を一層深化させ、企業の越境資金調達コスト低減を図る
重点分野の協同発展	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 深圳のテクノロジー企業が香港での資金調達を行う上での支援策活用の奨励(バイオテック企業や専門的技術を有する企業、テクノロジー企業による香港での上場など) ▪ 深圳企業による香港でのオフショア人民元建てサステナブル債発行の奨励 ▪ 中国における金融包摂、年金ファイナンスなどの分野のサービス・商品を拡大
特色ある応用事例の創出	<ul style="list-style-type: none"> ▪ デジタル人民元の応用シナリオに関するイノベーション継続の促進 ▪ 香港は初のデジタル人民元越境試験運用地域として、香港市民のソフト・ハードウォレット開設・利用を容易化し、小売・交通・貿易などでの実証範囲を拡大 ▪ 両地域共同による「mBridge」プロジェクト²の研究開発や実用化への参画支援
規制・監督の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 中国人民銀行の「金融テクノロジー・イノベーション規制ツール」、HKMA の「金融テクノロジー規制サンドボックス」、マカオ金融管理局の「革新的なフィンテックのパイロットプロジェクトに対する規制要件」間の相互連携メカニズムを活用し、リスクを適切に管理できる前提下で、その応用と普及の拡大を支援 ▪ 中国本土、香港、マカオにおけるイノベーション規制の相互接続を推進 ▪ 様々な分野におけるイノベーション監督の試行プログラムを一層深化させる。香港と深圳のフィンテック分野におけるクロスボーダーイノベーション協力を強化し、共同技術研究開発、共同でのユースケース構築、成果共有といった協力モデルを模索
産業エコシステムの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 両地域におけるフィンテック人材の育成推進 ▪ 業界との連携・協力の強化に関する施策として、「深セン・香港・マカオフィンテック専門人材プログラム」の円滑な推進 ▪ 両地域の業界団体や金融機関によるフィンテックイベントの共同開催の促進 ▪ 両地域における大規模なフィンテックイベントの連携強化

3. まとめ

本アクションプランは、デジタル金融、フィンテック、グリーンファイナンス、金融包摂、年金ファイナンスといった幅広い領域を横断する施策を掲げ、香港・深圳の連携・協力の拡大と深化を同時に実現しようとするものである。実際、香港ではフィンテックを成長戦略の中核に据えた政策運営が続いており、制度整備・市場形成の両面で着実な進展が確認できる。

まず制度整備の観点では、香港政府が資本投資スキームの運用を柔軟化し、より多くの投資家がフィンテック領域へ参入できる環境づくりを進めている。香港証券取引所(HKEX)によると、2025年は119件の新規上場があり、IPOに

² 各国の中央銀行デジタル通貨(CBDC)システムを相互接続させて行うクロスボーダー決済のプラットフォーム。2024年に実用化

よる資金調達額は、2,746億香港ドル(約5兆5,100億円)に達し、通年で6年ぶりに世界首位へ返り咲く見通しだ。資本調達機能の回復は、スタートアップから成長企業までの資金循環に厚みをもたらす、本アクションプランで想定される各種施策の実装を資本面から後押しする重要な基盤となる。

この資本市場のモメンタムは、2026年に入っても継続する可能性が高い。HKEXによると、2026年の最初の約3週間で11社が上場したという。このうち、ビレン・テクノロジー、ミニマックス、Zhipu AIといった中国本土のAIテック企業の上場も続き、香港市場におけるテック関連上場の活発化が改めて浮き彫りになった。こうした環境下で、本アクションプランが示す「深圳テック企業の香港での資金調達を支援する」方向性は、上場・資金調達のパイプラインを制度面で補強する意味を持つ。フィンテックやAI関連の香港上場は、技術成熟と投資家需要の拡大に伴い加速すると見込まれ、香港が国際資本市場におけるプレゼンスを一段と強化する展開が期待される。実例として、中国本土のテック企業PONY AIが2025年香港IPO資金調達額のトップ10にランクインしたなど、市場の受け皿としての機能は着実に広がっている。

市場形成の観点では、香港におけるフィンテックのエコシステムの裾野に広がりが見られる。2025年9月時点で香港には1,200社超のフィンテック企業が集積し、バーチャルバンク8行、バーチャル保険会社4社、デジタル資産取引所11社³が運営されている。中資系プレイヤーの存在感も一定程度みられ、本アクションプランにより香港・深圳連携が制度として強化されることで、両地の企業・人材・資本の往来が活性化し、エコシステム全体の成長余地はさらに拡大すると考えられる。

加えて、香港はデジタル資産分野においても「制度で市場を育てる」方向性を鮮明にしている。2025年8月にステーブルコイン条例⁴が発効し、資産裏付け型ステーブルコインのライセンス制度、準備資産の保管・開示義務、利用者保護措置などが明文化されたことで、香港の制度設計は実務段階へ入った。中国本土では暗号資産取引が厳格に制限される一方、香港は制度に基づく実証が可能なオフショア市場として位置づけられ、オフショア人民元と連動したステーブルコインなどの実証にも期待が集まり得る。こうした実績と制度整備の積み重ねが、英シンクタンクZ/Yenが公表した最新のグローバル金融センター指数⁵において香港がフィンテック分野で最上位に位置づけられる背景の一つとなっている。

総じて、本アクションプランは、従来の協力を超えて、「テクノロジー＋ファイナンス」を制度として接続する試みと言える。香港が有する資本調達基盤・国際市場への接続性と、深圳が有する技術実装力・産業集積基盤が噛み合えば、香港・深圳間の連携は「協力」から「共創」へ質的転換を遂げる可能性がある。今後は、資本市場の追い風、デジタル資産を含む規制整備、そして企業側の実装能力が同時に進むことで、アクションプランの成果が可視化され、香港・深圳の競争優位性がより明確な形で定着していくことが期待される。

以上

³ 香港立法会公表のニュースレター：[pp2025-10-latest-developments-in-fintech-and-digital-assets-in-hong-kong-c.pdf](https://www.hkex.gov.hk/press-releases/2025-10-latest-developments-in-fintech-and-digital-assets-in-hong-kong-c.pdf)

⁴ 詳細は当室発行の【2025年第10号】香港におけるステーブルコイン規制の枠組みとその影響ご参照

⁵ 英シンクタンクZ/Yenグローバル金融センター指数報告書：[Publications - Long Finance](https://www.zyen.com/publications-long-finance)

	発行日	タイトル
2025 年第 13 号	2026/2/6	香港の EV 市場動向と課題について
2025 年第 12 号	2026/1/30	香港自動運転の現状と課題・展望
2025 年第 11 号	2025/12/3	香港新田テクノポールの開発計画発表

当室が発行した過去のニュースフォーカスについて、以下のリンクよりご参照：

(日本語) https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_JPN.pdf

(英語) https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_ENG.pdf

- These materials have been prepared by MUFG Bank, Ltd. ("the Bank") for information only. The Bank does not make any representation or warranty as to the accuracy, completeness or correctness of the information contained in this material.
- Neither the information nor the opinion expressed herein constitute or are to be construed as an offer, solicitation, advice, or recommendation to buy or sell deposits, securities, futures, options or any other financial or investment products. The Bank [MUFG Bank] is a licensed bank regulated by the Hong Kong Monetary Authority and registered with the Securities and Futures Commission to carry out Type 1 and Type 4 regulated activities in Hong Kong.
- All views herein (including any statements and forecasts) are subject to change without notice, its accuracy is not guaranteed; it may be incomplete or condensed and it may not contain all material information concerning the parties referred to in this material. None of the Bank, its head office, branches, subsidiaries, and affiliates are under any obligation to update these materials.
- The information contained herein has been obtained from sources the Bank believed to be reliable, but the Bank does not make any representation or warranty nor accept any responsibility or liability as to its accuracy, timeliness, suitability, completeness, or correctness. Therefore, the inclusion of the valuations, opinions, estimates, forecasts, ratings, or risk assessments described in this material is not to be relied upon as a representation and / or warranty by the Bank. The Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates and the information providers accept no liability whatsoever for any direct or indirect loss or damage of any kind arising out of the use of all or any part of these materials.
- Historical performance does not guarantee future performance. Any forecast of performance is not necessarily indicative of future or likely performance of any product mentioned in this material.
- The Bank retains copyright to this material and no part of this material may be reproduced or re-distributed without the written permission of the Bank and the Bank, its head office, branches, subsidiaries, or affiliates accepts no liability whatsoever to any third parties resulting from such distribution or re-distribution.
- The recipient should obtain separate independent professional, legal, financial, tax, investment, or other advice, as appropriate.

Copyright 2026 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.